

兵庫県知的障害児者 生活サポート通信



発行 一般社団法人兵庫県知的障害児者生活サポート協会 理事長 小原 冷子
事務局 651-0062 神戸市中央区坂口通2丁目1番1号 兵庫県福祉センター内

TEL 078-891-4177 FAX 078-891-4188



安心のある生活を



理事長 小原 冷子

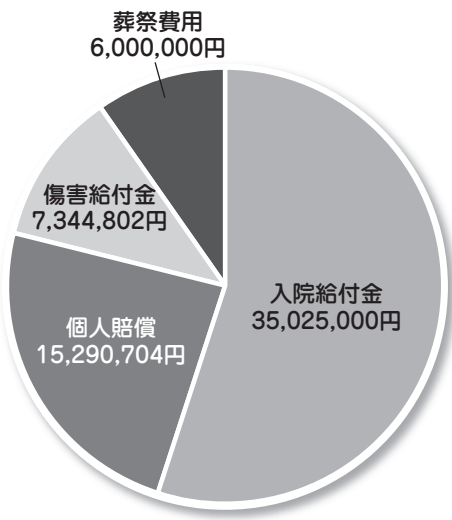
子どものことは、いくつになっても心配は尽きません。学齢の時は、「学校やお友達に迷惑をかけないかな」とか、成人して施設にお世話になっても、機嫌が悪い時とかに、「他の人達にけがや迷惑をかけないかな」とか「物を壊さないかな」とか心配は尽きません。親は、生きている限りずっと気にかけて暮らしています。障害ゆえに思わぬ病気やケガをしたり(コロナに感染とか)他の人に、迷惑をかけてしまう事もありました。しかし平成19年に兵庫県生活サポート協会が設立され、病気やケガ・施設や学校の物を壊してしまっても保険で支払える生活サポート総合補償制度ができました。これまでは、親は謝ってばかりでしたが、金銭面での不安は、保険で解消され、安心して社会生活が送れるようになりました。

今までは、知的障害児者のための保険でしたが、この度、対象者を拡大し、発達障害児者の方達も加入対象者になり分母が大きくなった分、安心も増えました。私達は、障害のある人達を支えながら、負担は少しでも軽く済み、親子で幸せな一生が、送れるようにといつも願っています。親の心配は尽きないですが、仲間が増えた安心の分だけ、正直少しほっとしています。できれば、保険は使わずに済むのがベストだと思いますが、思いもよらぬ事が起こった時に、不安は少し解消されたのではないのでしょうか。これからも、より良い方向に向かって、お互いに安心して暮らして行けます様に努力して参りましょう。どんな事態が起こっても、大切な我が子との安心がある生活は、何ものにも代えがたい、大切な日々です。

兵庫県知的障害児者生活サポート協会は、兵庫県手をつなぐ育成会の方々と、力を合わせて様々な事業に取り組んで参ります。各地区で、ウェブでの講演会・研修会等にご参加して頂き、共に学びあい、親も前向きに活動して参りましょう。

令和6年度 生活サポート総合補償制度ご利用状況

補 償 内 容		件数	支払合計額(円)
入院給付金	付添介護保険金	414	18,808,000
	差額ベッド費用	489	5,271,000
	入 院 諸 費 用	596	8,064,000
	入 院 一 時 金	559	2,882,000
個 人 賠 償		260	15,290,704
傷害給付金	傷 害 死 亡	3	200,000
	傷 害 入 院	44	4,161,799
	傷 害 通 院	129	2,362,920
	傷 害 手 術	36	550,083
	後遺障害保険金	4	70,000
葬 祭 費 用		65	6,000,000
合 計		2,599	63,660,506



2024年4月1日～2025年4月1日 プランA・B・C合算
※2025年6月11日現在のデータ

令和6年度加入者数 6,637名 (Aプラン：3,399名 Bプラン：2,643名 Cプラン：595名)

令和6年度 決算書
(令和6年4月1日～令和7年3月31日) (単位：円)

科 目	合 計 額
I 経 常 収 益	
会 費 収 入	16,444,195
雑 収 入	3,793
経 常 収 益 計	16,447,988
II 経 常 費 用	
管 理 費	8,959,033
会 費	1,328,040
事 業 費	2,701,064
予 備 費	0
経 常 費 用 計	12,988,137
当期一般正味財産増減額	3,459,851
一般正味財産期首残高	33,053,591
一般正味財産期末残高	36,513,442

【保険料 収入の部】

科 目	合 計 額
預 り 保 険 料	128,425,050

【保険料 支出の部】

科 目	合 計 額
預 り 保 険 料	128,425,050

令和7年度 予算書
(令和7年4月1日～令和8年3月31日) (単位：円)

科 目	合 計 額
I 経 常 収 益	
会 費 収 入	16,500,000
雑 収 入	2,000
経 常 収 益 計	16,502,000
II 経 常 費 用	
管 理 費	10,510,000
会 費	1,370,000
事 業 費	3,450,000
予 備 費	10,000
経 常 費 用 計	15,340,000
当期一般正味財産増減額	1,162,000
一般正味財産期首残高	36,513,442
一般正味財産期末残高	37,675,442

【保険料 収入の部】

科 目	合 計 額
預 り 保 険 料	160,636,000

【保険料 支出の部】

科 目	合 計 額
預 り 保 険 料	160,636,000

地域生活支援事業助成制度

たつの市 矢野 一隆

11月13日(水)世田谷区手をつなぐ親の会会長渡部伸氏を講師にお招きし、『障害のある子の「親なきあと」～「親あるあいだ」の準備～』と題して年金学習と虐待防止セミナーを開催しました。

「親なきあと」の課題とは、お金に困らないためには、生活の場をどこに確保するのか、日常生活で困った時の支援はどうなるのかなど様々な課題を提示され、それに対しての事例も紹介していただき、わかりやすく学ぶことができました。また、障害基礎年金を保護者が勝手に自分のために使うことは経済的虐待になるという事も学びました。

いつかは来る将来をいつか話し合うのではなく、いま具体的に将来に向けて本人の為の仕組みを準備すること・社会との接点を持つこと、子供の事を話せる人や機関を見つけておくことが大切だと教えて頂きました。

* * * * *

宝塚市 岡本 康代

宝塚市では、地域生活支援事業助成金を活用させていただき、令和6年11月14日に講演会を開催しました。今回は「脳のしくみと服薬～児童精神科医からみた脳の働きと特性～」というテーマで、一般財団法人信貴山病院ハートランドしぎさん「こどものこころ診療センターの根来秀樹氏」にお話をいただきました。脳のしくみの説明から、神経伝達物質が衝動性・攻撃性に関係しているため、3つの要因(生物・心理・社会)の内の生物的要因に対して服薬し、問題行動等の症状を抑えるということでした。また治療・支援の目標は、問題行動等の症状を治すということではなく、本人や家族また本人を取り巻く人々が障害特性を理解し、それらの特性と折り合いを付け、その人のレベルに合った社会適応力を付けていくことであるとお話されたことが印象に残りました。今回、多くの方々にご参加いただき、参加者から「大変勉強になった」「服薬についてもっといろいろなことを聞きたい」と感想があり、問題行動や服薬について関心の高さが伺えました。今後も助成金を活用させていただき、皆さんの関心のある話を聞く機会を設けたいと思います。ありがとうございました。

「親と子のつどい2024」に参加して

小野市 萩野 優子

2024年11月16日(土)の朝、47名の参加者を乗せた大型バスが兵庫県を飛び出し大阪府へと出発しました。目的地はEXPOCITYにあるニフレルと箕面観光ホテルです。高速道路を使うと1時間ほどで到着。心配していたお天気も、日頃の行いが良いためか時々小雨程度で助かりました。

かの有名な岡本太郎氏の太陽の塔を横目に見ながらニフレル前で記念撮影しました。中に入ると水族館と美術館が合体したような展示で、美しさにうっとり…。二階に上がると上手に擬態した生き物を探すコーナーがあり、ついつい夢中になって探しました。見つかったときは、近くにいた他のお客さんとも喜びを分かち合い、みんな笑顔になりました。キツネザルやペンギン、カピバラにホワイトタイガーやワニなども身近に見られるコーナーもあり、動物園も体験できました。外に出ると大きな観覧車があって、EXPOCITYの全景を上空から楽しんでいる方もいました。

昼食は再びバスで移動して箕面観光ホテルでのランチバイキングを堪能しました。たくさんのお客さんで賑わっており、外国の方もいらっしゃって、地元ではなかなか体験できない雰囲気の中、デザートまでたくさんいただくことができました。

今回は人の多い場所に行ったこともあって、迷子になる方もありましたが、そのたびに参加者が協力して探し、全員無事に小野市に帰ってくることができました。

トラブルもありましたが、それも含めて貴重な体験ができました。参加者同士の絆も深まったように思います。サポート協会をはじめ多方面よりご支援いただき、楽しい一日が過ごせましたこと、感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。



小野市

A I G保険に加入して

美方郡 田野 哲夫

私の息子は、5年前に作業所の友人との散歩中に友人の足と足がもつれて転倒、手首の少し上を骨折しました。また7年前のこと、私の田植え作業を見ながらそぞろに歩いていた息子は、道路を横断している水路のグレーチングが車走行の振動で、採石のとがった石のある25cmの深い溝に、足がはまってしまいました。悲鳴を聞いて急いで病院へ行きました。かかとは、骨折しており非常に直りが悪く、完治するには8ヶ月以上かかりました。

そして、3年前には息子と私が後見しているF君が、コロナウイルスに感染してしまいました。まだ保険金が入院対象の時期にありましたので請求することができ、保険金をいただくことができました。保険・共済等の加入が難しい2人にとって生活の支えになりました。特にF君は、両親死別、妹さんは施設入所、本人はグループホームに入居が叶ったところでした。

役職柄、こうした事を引用して皆さんへ、加入を勧めています。心を込めて有り難う。

令和6年度 障害基礎年金学習会を開催しました

今年度も、特別支援学校の保護者の方を対象に、県下4ヵ所で障害基礎年金学習会を兵庫県手をつなぐ育成会と共催で開催します。

ぜひ、障害基礎年金学習会に参加していただき、最初の申請の際に、スムーズに手続きが出来ますようにと願っております。

令和6年度 障害基礎年金学習会開催校

開催日	学校名	参加人数
令和6年10月17日	兵庫県立むこがわ特別支援学校	22名
令和6年11月1日	兵庫県立いなみ野特別支援学校	80名
令和6年11月25日	兵庫県立出石特別支援学校みかた校	18名
令和7年1月22日	三木市立三木特別支援学校	43名



編集後記

サポート通信No.26の発送作業は、加古川市手をつなぐ育成会のみなさんをお願いしました。



★パンフレットのご請求・お問合せ先★

- 補償制度担当：ジェイアイシーウエスト株式会社
〒540-0026 大阪府中央区本町1-1-1 OCT 7階
フリーダイヤル：0120-177-294
- 一般社団法人 兵庫県知的障害児者生活サポート協会
TEL：078-891-4177
E-mail：hyogo-support@voice.ocn.ne.jp